

2022年度事業計画

自 2022年4月 1日

至 2023年3月31日



公益財団法人山田科学振興財団

2022 年度事業計画

【事業の概要】

当財団は、自然科学の基礎研究を助成振興し、もって我が国の科学研究の向上発展と人類の福祉に寄与することを目的としている。この目的を達成するため、定款第 4 条に定めるように、自然科学における多岐の分野にわたる(1)基礎的、学際的研究に対する援助、(2)研究者の招聘・派遣、その他国際学術交流に対する援助、(3)学術集会の開催援助及び開催、を公益目的事業として実施している。本年度の具体的な事業内容は以下のとおりとする。

尚、公益目的事業費は、基本財産運用益、特定資産運用益、寄附金収入を計画に従って適切に配分する。

【事業の内容】

I 自然科学の基礎的、学際的研究に対する援助

1. 研究援助

自然科学における基礎研究について、国内から広く募り、厳正な審査のもと研究費の援助を行う。2022 年度の募集は 2023 年度に実施するものを対象とし、2022 年度の選考および援助については 2021 年度に申請・推薦があった課題を対象とする。

1) 募 集

募集対象：主として独立した研究者によって計画された研究であり、2023 年度から実施予定の研究計画を募集する。

募集方法：募集要項を本財団ホームページ上に掲載するとともに、大学や公的研究機関、および財団が指定する推薦指定学会等に広く案内する。研究者からの援助申請のうち、推薦指定学会、もしくは本財団関係者（役員等、役員等経験者、および学術参与）から推薦を受けた研究計画を選考対象として受理する。

2) 選 考

選考対象：2021 年度の公募期間中に申請・推薦された研究計画を選考対象とする。

選考方法：選考対象について、申請書類と外部専門委員による一次審査結果（書面）をもとに、物理、化学、生物・医学の各分野の専門家から成る選考委員会が審議して採択案を作成する。次いで、理事会が採択案について審議し、援助課題および援助額を決定する。

選考方針として、評価が定着して研究資金が得やすいものより、高い目標を掲げた萌芽的・挑戦的基礎研究を重視すること、また、多様な視点や発想を取り入れた研究活動を実践し、創造力を発揮する研究者を積極的に支援するため、女性の活躍はもちろんのこと、一人一人の多様性を尊重することとし、以下の点を考慮する。

- ・萌芽的・独創的研究
- ・新規研究グループで実施される研究

・学際性、国際性の観点からみて優れた研究

3) 援 助：2021 年度の実績を維持し、総額 4,000 万円の援助を実施する。尚、1 件あたりの援助額は 100～500 万円として公募し、18 件程度を採択する。

4) 成果報告及び研究交歓会

2022 年 3 月末に研究期間が終了した援助課題（2020 年度援助課題）について、代表研究者から研究成果報告書の提出を要請・受領し、財団ホームページ、事業報告書等をとおして広く公開する。また、同研究者及び本財団関係者を招集し、研究成果について意見交換する成果報告会と本財団関係者による学術講演会を組み込んだ研究交歓会を開催する。当研究交歓会の開催費用として、400 万円を計上する。

II 自然科学の研究を行うための招聘・派遣、その他国際学術交流に対する援助

1. 海外研究援助および長期間派遣援助

海外における学識交換を通じて学術の国際交流を促し、また共同研究によって相互に研究の学際的あるいは国際的な進展を図るため、海外での研究活動（1 カ月～1 年間）に要する渡航費、滞在費、研究経費等の一部を援助する。

本事業は、2020 年度までは「長期間派遣援助」として実施し、2020 年度の公募から「海外研究援助」として新たな内容で実施しているが、2020 年度に長期間派遣援助として実施予定の課題の一部がコロナ禍の影響により 2022 年度まで延期して実施することになったため、以下の援助対象および援助額については、新旧の事業に分けて計画する。

2022 年度の募集・選考は 2023 年度に計画するものを対象とし、援助の実施については長期間派遣援助として 2019 年度に採択した課題、および 2020, 2021 年度に海外研究援助として採択した課題を対象とする。尚、2022 年度に予定している研究計画が、コロナ禍の影響等により実施できない場合は、援助を受ける者と協議の上、次年度以降に延期する等の措置を講じることとする。

1) 募 集

募集対象：2023 年 4 月～2024 年 3 月の間に海外での研究活動を開始する計画を募集する。

募集方法：募集要項を本財団ホームページ上に掲載するとともに、広く大学や公的研究機関等に案内する。研究者からの援助申請のうち、申請内容に不備のないものを選考対象として受理する。

2) 選 考

選考対象：2022 年度の公募期間中に申請された研究計画を選考対象とする。

選考方法：選考対象について、申請書類と外部専門委員による一次審査結果（書面）をもとに、物理、化学、生物・医学の各分野の専門家から成る選考委員会が審議して採択案を作成する。次いで、理事会が採択案について審議し、援助課題および援助額を決定する。

3) 援助対象および援助額

・海外研究援助

援助対象：2021 年度に公募・採択した課題について援助を実施すると共に、2020 年度に公募・採択した課題のうち、新型コロナウイルス感染症の再拡大の影響により延期となった 2 件についても、援助を実施する。

援助額：2021 年度に公募・採択した課題については、1 件 100 万円を 1 件程度、1 件あたり 200 万円を 8 件程度の援助を行う予定であり、援助の総額は最大で 1,700 万円とする。また、2020 年度から延期となった 2 件は、100 万円 1 件、200 万円 1 件である。よって、2022 年度は、2020 年度採択分 300 万円を加え、合計 2,000 万円の援助を実施する。

・長期間派遣援助

援助対象：2019 年度に公募・採択し、2020 年度に援助実施予定であった 7 件の採択課題のうち 5 件が新型コロナウイルス感染症のパンデミックの影響により延期となったが、2021 年度には 4 件のみ実施したため、2022 年度は残り 1 件について実施する。

援助額：1 件分、10,000 米ドルの援助を実施する。

4) 成果報告と研究交歓会

長期間派遣援助が終了した研究者に成果報告書の提出を要請・受領し、財団ホームページ、事業報告書等をおして広く公開する。また、同研究者及び本財団関係者を招集し、研究成果について意見交換する研究交歓会を開催する。当研究交歓会はオンライン開催とし、その開催費用として、10 万円を計上する。

Ⅲ 自然科学に関する学術集会の開催援助及び開催

1. 国際学術集会開催援助

2022 年度の国際学術集会援助は、「山田コンファレンス」および「山田シンポジウム」として定義する国際学術集会の開催主旨に合致する会議を広く募集するとともに、既に採択した当該国際学術集会の開催経費について援助を実施する。なお、45 周年記念事業として 2020 年度に公募・採択したトップ・コンファレンス支援事業採択課題については、2022 年度開催予定であったが、新型コロナウイルスによる感染再拡大の懸念により 2023 年度に開催延期となった。

本援助事業において、「山田コンファレンス」は、1978 年から開催された自然科学の基礎的分野をテーマとする国際学術集会であり、特定の研究領域において最先端の研究を実施している研究者による高いレベルの討論を行うことを目的としている。「山田シンポジウム」は、若手・異なる分野の研究者を含む優れた研究者の討論により、次世代の新しい研究領域を探り、それを担う新進気鋭の研究者を育てることを目的としている。

また、「トップ・コンファレンス支援事業」とは、近年、アジア・パシフィック各国の競争力向上により日本への招致が困難となっている世界的に重要な国際会議の招致・開催援助という研究者のニーズを汲んで新しく立ち上げられた事業であり、従来の国際学術集会援助のカテゴリーと切り分け、財団設立 45 周年記念事業として試験的に実施するものである。

1) 募 集

募集対象：「山田コンファレンス」および「山田シンポジウム」として 2025 年に実施を計画する国際学術集会を募集する。

募集方法：募集要項等を本財団ホームページ上に掲載し、援助を希望する大会主催者からの直接応募を受け付ける。

2) 選 考

選考対象：2021 年度の公募期間中に申請された、2024 年度開催予定の国際学術集会を選考対象とする。

選考方法：受理した国際学術集会計画書ならびに専門分野の選考委員による意見書をもとに選考委員会が審査し、採択案を作成する。次いで、理事会が本採択案について審議し、援助課題および援助額を決定する。

3) 援助対象および援助額

一昨年より続く新型コロナウイルスによる感染拡大が繰り返されたため、当初 2020 年度及び 2021 年度に計画していた山田コンファレンスのうち、「Wnt ミーティング」、「第 9 回ニトロキシドラジカルに関する国際会議」及び「動物の左右非対称性の起源」の 3 件の開催が延期され、2022 年度に開催予定となった。2022 年度に計画していた山田コンファレンス「金属錯体を用いた分子スピントロニクス国際会議」については、当初の予定通り 2022 年度に開催予定であるが、トップ・コンファレンス「第 28 回統計物理学国際会議」については、2023 年度へ開催延期となった。

上記の通り、2022 年度開催予定の 4 件の国際学術集会に対し、下記の通り、援助決定額の残りの金額について援助を行う（既に開催準備のため、援助決定額の一部で援助実施済）。なお、「第 9 回ニトロキシドラジカルに関する国際会議」については、オンライン開催への変更により、援助額を 100 万円から 50 万円に変更となった。

また、これらの山田コンファレンス開催終了後に発行する Proceedings について、開催者からは電子媒体で提出されるが、当財団で保存用に冊子作成するため、冊子作成費用として 4 件分で 100 万円を追加する。

・山田コンファレンス

「Wnt ミーティング」（2018 年度採択/2 年延期で実施予定）：

援助決定額 600 万円のうち残り 510 万円

「動物の左右非対称性の起源」（2019 年度採択/1 年延期で実施予定）：

援助決定額 800 万円のうち残り 700 万円

「金属錯体を用いた分子スピントロニクス国際会議」（2020 年度採択）：

援助決定額 800 万円のうち残り 700 万円

「第 9 回ニトロキシドラジカルに関する国際会議」（2018 年度採択/2 年延期で実施予定）

援助決定額 100 万円からオンライン開催により 50 万円に変更

上記 4 件分の Proceedings 冊子作成費用として、100 万円

（国際学術集会 計 2,060 万円）

2. 山田研究会

山田研究会は若い世代の基礎科学研究者の自由な発想の交換と相互啓発を促進する小規模な集会とし、基礎科学の異分野間の交流を図り、cross disciplinary な討論を通じて、新しい発展を模索することも強く意識する実験的な研究集会であり、当財団の主催のもとに行うものとする。

1) 推 薦

本財団関係者（役員等、役員等経験者および学術参与）から開催概要を付した推薦書を受け付ける。

2) 選 考

開催概要、推薦書、専門分野の選考委員による意見書をもとに選考委員会にて採択の可否を審査し、採択の場合は理事会にて承認・決定する。

3) 予算および実施計画

1 研究会あたりの予算は 100 万円を上限とし、2022 年度は 1 件を採択・実施する。

4) 成果報告

開催後、開催責任者に報告書の提出を求め、財団ホームページ、事業報告書および財団ニュース等を通して広く公開する。

IV 各事業の公募期間・選考スケジュール

1. 公募期間

1) 研究援助

募集期間：2022 年 10 月 3 日～2023 年 2 月 28 日

2) 海外研究援助

募集期間：2022 年 8 月 1 日～2022 年 10 月 31 日

（2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日の間に海外へ出発するものを対象とする。）

3) 国際学術集会開催援助

「山田コンファレンス」・「山田シンポジウム」

募集期間：2022 年 4 月 1 日～2023 年 2 月 28 日

4) 山田研究会

推薦期間：随時、受け付ける。

2. 選考スケジュール

1) 研究援助、国際学術集会開催援助、及び山田研究会

第 1 回選考委員会 : 2022 年 7 月 30 日

第 1 回臨時理事会（決定承認） : 2022 年 7 月 30 日

2) 海外研究援助

第 2 回選考委員会 : 2023 年 2 月 25 日

第 2 回定時理事会（決定承認） : 2023 年 2 月 25 日

V その他

1. 事業報告書の発行

情報公開ならびに事業活動の周知のため、第45回（令和3年度）事業報告書を編集・発行し、財団関係者、大学・研究機関、学会、他財団、等に配布を行う。

2. 財団ニュースの発行

当財団関係者、各援助事業の受領者、推薦依頼学会等との間のコミュニケーションを図るため、広報誌「財団ニュース」を年2回発行し、関係各位に配布を行う。

3. オンライン申請システム及び事務作業のクラウド化環境整備等のメンテナンス

2021年度に各公募事業のオンライン申請システムの稼働開始、及び外部サーバーを用いた事務作業のクラウド化環境の整備等を実施したが、2022年度はその改善を含めたメンテナンスを実施する。

VI 留意事項

1. 新型コロナウイルス感染症の影響について

2020年から再拡大を繰り返している新型コロナウイルス感染症及びその変異株によるパンデミックにより、当財団において、2021年度の海外研究援助や国際学術集会援助などの国際交流ならびに集会を伴う事業のいくつかが中止・延期することとなった。今後、ワクチン接種や治療薬の開発により、ある程度の落ち着きを見せる可能性もあるが、変異株の発生による感染再拡大とそれに対する国内外での対応施策等により、2022年度も引き続き事業運営に影響を及ぼすことが懸念される。このため、2022年度においても、ここで計画する援助事業については、採択者の活動状況や希望に応じて援助の実施時期・期間を変更・延期するなど、柔軟な対応に努める。

2022 年度事業計画概要

I 自然科学の基礎的、学際的研究に対する援助

事業名	実施計画	予算額
研究援助	<ul style="list-style-type: none"> ・2021 年度に公募した申請課題から 18 件程度を採択し、援助を実施する。 ・2023 年度に援助を行う研究課題を公募する。 (公募期間：2022 年 10 月 3 日～2023 年 2 月 28 日) 	4,000 万円 —
研究交歓会	<ul style="list-style-type: none"> ・2020 年度の研究援助採択者と財団関係者が研究成果について意見交換を行う研究交歓会を 10 月頃に開催する。 	400 万円

II 自然科学の研究を行うための招聘・派遣、その他国際学術交流に対する援助

事業名	実施計画	予算額
海外研究援助	<ul style="list-style-type: none"> ・2021 年度の採択課題 9 件について援助を実施する。 ・2023 年度に援助を行う研究課題を公募し、6 件程度を選考・採択する。(公募期間：2022 年 8 月 1 日～10 月 31 日) ・2020 年度に採択した 8 件のうちコロナ禍により 2021 年度に実施できなかった 2 課題について援助を実施する。 	1,700 万円 — 300 万円
長期間派遣援助	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍により 2020～2021 年度に実施できなかった 1 課題について援助を実施する。 	120 万円
研究交歓会	<ul style="list-style-type: none"> ・2019 年度迄の長期間派遣援助採択者と財団関係者が研究成果について意見交換を行う研究交歓会を 6 月に開催する。(オンライン) 	10 万円

III 自然科学に関する学術集会の開催援助

事業名	実施計画	予算額
国際学術集会開催援助	<ul style="list-style-type: none"> ・下記 4 件の国際学術集会について、準備費用として 2021 年度に決定額の一部を援助したため、決定額の残りの援助を実施する。 山田コンファレンス 「金属錯体を用いた分子スピントロニクス国際会議」 「Wnt ミーティング 2022」 「動物の左右非対称性の起源」 「第 9 回ニトロキシドラジカルに関する国際会議」(オンライン) 上記 4 件分の Proceedings 冊子作成費用 ・2024 年度開催予定の国際学術集会援助課題を 1 件採択する。 ・2025 年度の国際学術集会開催援助課題を公募する。 (公募期間：2022 年 4 月 1 日～2023 年 2 月 28 日) 	700 万円 510 万円 700 万円 50 万円 100 万円 — —
山田研究会	1 件程度 採択、実施	100 万円

本事業計画書に変更がある場合、基本的な変更は理事会の決議を要するが、日時の変更など基本的な変更でない場合は理事長に一任する。